

ちば里山アワード ちば里山大賞(知事賞)受賞報告

ちば里山アワード

里山は環境や景観の保全、防災機能などの多面的機能を有していますが、生活様式の変化等により、荒廃や竹林化が進んでいます。そこで、市民活動団体等により里山を保全・整備し、千葉の美しい里山の景観を守っている事例や里山の資源を生かし、地域の活性化に繋げている様な優良事例を表彰し、活動の促進を図ると同時に里山や森林の保全の重要性について普及啓発を行います。

テーマ：里やまボランティア入門講座から里やま活動への展開

団体名：松戸里やま応援団と松戸市（みどりと花の課）

里山保全のボランティア講座を市民が中心となって企画運営し、受講生の主体的な活動の支援を行っている。市民と行政が協働して里山ボランティアの発掘・育成を行っており、近隣の市にも広まっている先進的な事例を評価した。

《受賞の挨拶》

私たちは、2003年以来18年続けて、里やまボランティア入門講座を松戸市との協働で実施してきました。そこから14の里やま活動団体が生まれ、主として市内の民有林で活動しています。いま、昨年の講座修了生が、新たな活動を始めようとしているところです。今回の応募では特に二つのことを強調しました。

一つは、講座を修了して里やま活動をしている市民が、講座の企画・運営の中心を担っていることです。それが受講生に親近感を与え、修了生による団体の立ち上げにつながってきました。同時に、講座の企画・運営は、新たな里やまリーダーが成長する場ともなっています。もう一つは、すべての里やま活動団体が、緊密に連携していることです。里やま応援団は、コロナの時期を除いて毎月連絡会を開催し、各団体は活動日毎に報告書を発信して、情報を共有してきました。オープンフォレストin松戸は市内の全里やま活動団体が森の所有者団体とともに実行委員会を構成し、松戸市と共催で実施しています。最近では子育てグループなどが一緒に森の体験のイベントを開催するなどの広がりを見せています。これからも里やま講座を続け、貴重な都市の緑を守り活かしていくために、「みどりの市民力」を発揮していきたいと思ひます。



* 9月下旬応募総数13件

* 10月28日（水）プレゼンテーション：（二次審査）上位6団体の活動報告

* 1月13日（水）表彰式

ちば里山大賞：松戸里やま応援団と松戸市(みどりと花の課)

ちば里山いいね！賞：たろやま会(四街道市)

千葉テレビ授賞式映像

<http://matsudo-satoyama.org/mishi/hyoshoshiki.mp4>

I. ちば里山アワード 里山大賞受賞記念講演会

ちば里山アワード里山大賞受賞記念講演会を9月25日(土)に開催計画したが緊急事態宣言期間中になり新型コロナウイルス感染拡大のリスクを考慮して中止とし、無観客で基調講演とシンポジウムを収録してオンデマンド配信する案も検討したが、これも中止とした。テーマは「つながりよ！ 森と地域と子どもたち」で、基調講演：①千葉大学大学院園芸学研究院 教授 柳井重人先生の題目「松戸の里やま活動と地域の結びつき」、②NPO 法人生態教育センター理事 村松亜希子氏の題目「自然の中で育つ子どもたち」およびシンポジウムは 八柱幼稚園園長・子育て活動団体代表・里やま活動団体副代表・市担当課専門監を交えて計画していた。

里やま活動は 森を整備して 明るくきれいな森にして 皆で気持ちよく・楽しく遊べる森、家族連れで子どもたちが 森あそびができ、地域の皆さんが交流する場に出来たらよいとの考えが基本にあります。貴重な都市の緑を守り活かしていくために、これからも「みどりの市民力」を発揮して 里山や樹林地の整備を続けていながら 近隣の小学校や幼稚園などに声をかけ、自然と触れ合う体験を提供することで 森林やみどりの大切さを伝えていき、親子が参加する自然遊びの体験を通じて 地域の皆さんに森に親しむよう努める考えです。

記念講演会の趣旨に合せた体験会「ちば里山アワード 記念フェスタ」として「あそびの森 in 囲いやま」を11月21日に開催する計画を同時に進めて参りました。

II. あそびの森 in 囲いやま 報告

今回の開催は「ちば里山アワード 記念フェスタ」として、松戸里やま応援団の主催、松戸みどりと花の基金が後援、千葉県・松戸市の支援をいただき 子どもっとまつどが事務局を担当し、あそびの森 実行委員会で協議・検討をすすめた。

実行委員会開催:第1回6月6日(日)市民会館会議室、第2回9月5日(日)市民会館会議室、第3回10月30日(土)囲いやまの森の下見会で各団体の希望を確認、振り返りはイベント終了後に現地で開催をした。

1) 協力団体

松戸里やま応援団と①まつどネイチャーゲームの会、②日本エコイ協会、③NPO さんま④松戸子どもの文化連絡会、⑤絵本の会たんぼぼ、⑥NPO ママキャン、⑦パパ Labo⑧囲いやま森の会、⑨NPO 子どもっとまつど 計9団体が協力しての開催。

2) 広報と参加者

チラシ・ポスターは 各協力団体が自己ルートに配布、秋の子ども向けイベント・21世紀の森と広場の家族連れに個別配布、市内の学童・幼児教育施設などへ市から配布に努め 約80名の参加応募があり 当日の欠席があり当日の一般参加者数は73名(24家族)でした。協力団体のスタッフ50名、里やま関係30名、合計153名 内子ども54名。受付は子どもっとまつどのオフィスでの電話受付、名簿作成・配布資料の印刷等を実施した。

3) 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスの感染は9月以降、急速に減少し、直近では1日300人前後の低水準を維持していた。感染対策をきちんと行うことにして、マスクの正しい着用・こまめな手洗い・手指消毒、密接・密集・密閉の回避など、基本的な感染対策の徹底を受付時に実施し、注意喚起した。

あそびの森 in 囲いやま 2021年11月21日(日)



囲いやまの森入口



森の遊具で楽しさいっぱい！ ジャンボブランコ
ターザンロープ ハンモック スラックライン





エコトンボの会 松戸ネイチャーゲームの会
パパサークル パパ Labo 松戸子どもの文化連絡会



絵本の会「たんぽぽ」 NPO ママキャン
NPO 子どもっとまつど NPO さんま



ステージ



子ども寄席 落語 松戸ネイチャーゲームの会
松戸里やま応援団 絵本の会「たんぽぽ」



松戸子どもの文化連絡会 キッチンカー
囲いやま森の会 松戸里やま応援団

